— 観 察 記 録 —

北海道におけるコシジロウズラシギ *Calidris fuscicollis* の春季の記録

先崎理之*

北海道大学農学院 〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

(2013年6月9日受付; 2013年7月19日受理)

キーワード: コシジロウズラシギ, *Calidris fuscicollis*, 春季, 北海道.

日本鳥学会誌

Japanese Journal of
Ornithology

© The Ornithological Society
of Japan 2014

Masayuki SENZAKI*. 2014. A spring record of White-rumped Sandpiper *Calidris fuscicollis* from Hokkaido. Jpn J Ornithol 63: 55–58.

Key words: White-rumped Sandpiper, *Calidris fuscicollis*, Spring record, Hokkaido.

Graduate School of Agriculture, Hokkaido University, Kita 9, Nishi 9, Kita-ku, Sapporo 060-8589, Japan.

1. 種名・観察個体数: コシジロウズラシギ *Calidris fuscicollis* 1 個体.

2. 観察者名: 先崎理之.

3. 観察日時・観察場所: 2013年5月21日 15:10–15:40 北海道むかわ町晴海96 (42°35'8"N, 141°53'25"E).

4. 観察距離: 60–100 mの距離から12倍の双眼鏡, 20および40倍のフィールドスコープで観察した.

5. 観察した環境: むかわ町は札幌より南東約70 kmに位置する太平洋に面した町である. 本個体は, むかわ町晴海の採石場跡地にできた水溜りで観察された. この水溜りは晴海の海外線から約200 m内陸側に位置し, 約1 haおよび2 haの二つの水域から成り, 両者は南北方向に隣接している. いずれも浅く (最深約10 cm), 底の泥が露出して干潟状になっていた. 北側の約1 haの水溜りにはガマ *Typha latifolia* やヨシ *Phragmites australis* 等の抽水性および湿地性草本がまばらに, 一方, 南側の約2 haの水溜りにはこれらの湿地性草本が密に生えていた. なお, 水溜りは雪解け水や雨水が溜まって出来たもので, シギ・チドリ類の餌生物の中でも魚類や, ゴカイ等の海産ベントスは生息し

ていないと考えられる.

6. 形態に関する記述: 本個体は周囲にいたトウネン *Calidris ruficollis* やヨーロッパトウネン *C. minuta* より一回り, コチドリ *Charadrius dubius* よりわずかに大きく, キアシシギ *Heteroscelus brevipes* よりは明らかに小さかった. 頭頂から後頭部にかけては淡い赤褐色で, 黒くて細い縦斑が密にあった (図1). 眼先は暗褐色で, 眼の後方と耳羽は淡い赤褐色だった. 眉斑, 頬, 喉は淡い灰色で, 淡い黒色の小さな縦斑がわずかに見られた (図1). 胸, 側胸には淡い黒色の細い縦斑が, 腋にはそれらより明瞭な黒色の縦斑が多数認められた (図1). 腹から下尾筒は白かった (図1). 後頸から上背, 背は, 遠距離であったため詳細な模様の観察はできなかったが, 黒色, 白色, 橙色の縦斑が並んでいるように見えた (図1). 上尾筒は白く, 飛翔時は三日月形の白斑に見えた (図2). 尾羽上面は黒褐色だった (図2). 肩羽は灰色で, 黒い軸斑は中央部でもっとも膨らみ先端にかけて細くなっていた (図1). また, 一部の肩羽の外縁は橙色を帯びていた. 雨覆は灰色で, 細くて黒色の軸斑があった (図1). 三列風切は黒色で, 羽縁は白色だったが (図1), わずかに橙色みを帯びているように感じられた. 静止時の初列風切は黒色で, その先端は尾端より突出していた (図1). 飛翔時の初列風切は各羽の先端部が黒く, 外弁が淡い灰

* E-mail: bittern0412@yahoo.co.jp

doi:10.3838/jjo.63.55

JOI:JST.JSTAGE/jjo/63.55

図1. むかわ町で観察されたコシジロウズラシギ *Calidris fuscicollis* (1). (2013年5月21日. 撮影: 先崎理之).

Fig. 1. White-rumped Sandpiper *Calidris fuscicollis* observed at Mukawa Town, Hokkaido on 21 May 2013 (1). Photograph by M. Senzaki.

図2. むかわ町で観察されたコシジロウズラシギ *Calidris fuscicollis* (2). 白い上尾筒を示す. (2013年5月21日. 撮影: 先崎理之).

Fig. 2. White-rumped Sandpiper *Calidris fuscicollis* observed at Mukawa Town, Hokkaido on 21 May 2013 (2). Note the white uppertail coverts. Photograph by M. Senzaki.

白色で、内弁が濃い灰白色だった(図2)。嘴は頭長と同程度かそれよりやや長く、先端にかけて細くなり、下にわずかに湾曲していた(図1)。上嘴は黒く、下嘴は基部が橙色で先端が黒かった。脚は黒色で、周囲にいたトウネンやヨーロッパトウネンのものより長く見えた(図1)。概観して、体型は、ウズラシギ *Calidris acuminata* やアメリカウズラシギ *C. melanotos* に似ているように見えたが、これらより初列風切が長く感じられた(図1)。

7. 計測値:—

8. 種を同定した規準: 小型であり、体型がずんぐりしていること、嘴が短くまっすぐなこと、脚が短いことから、本個体はオバシギ属 *Calidris* の一種であり(高野 1980; Chandler 2009)、大きさから、ヒメウズラシギ *C. bairdii*、ヒメハマシギ *C. mauri*、コシジロウズラシギのいずれかである(Hayman et al. 1991; del Hoyo et al. 1996; O'Brien et

al. 2006; Chandler 2009; Van Duivendijk 2011)。これらのうち、上尾筒が三日月形に白いののはコシジロウズラシギだけであるので(Hayman et al. 1991; del Hoyo et al. 1996; O'Brien et al. 2006; Chandler 2009; Van Duivendijk 2011)、本個体をコシジロウズラシギと同定した。オバシギ属鳥類の中では、サルハマシギ *C. ferruginea* およびアシナガシギ *C. himantopus* も上尾筒が白いが、いずれも本個体よりも大きく、嘴と脚が長いこと、胸や腋に黒い縦斑がないことから異なる(Hayman et al. 1991; O'Brien et al. 2006; Chandler 2009; Van Duivendijk 2011)。

本種の成鳥は、3-4月に頭部、腹から胸、背や肩羽、一部の三列風切、雨覆を夏羽に換羽する(O'Brien et al. 2006)。一方、幼鳥は、秋~冬季に、体羽、一部の尾羽、三列風切、初列風切を換羽し、3-4月に一部の体羽、三列風切、雨覆、時に外側

初列風切を部分換羽する (O'Brien et al. 2006). このため、春季の第一回夏羽は、幼羽を保持している場合は識別できると考えられる. しかし、幼鳥の中には秋～冬季にほとんど完全換羽する個体もあり (O'Brien et al. 2006), そのような場合は春季に成鳥夏羽と識別することはできないであろう (Van Duivendijk 2011).

本個体は、その特徴から、頭部から背、肩羽、腹から胸を夏羽に換羽していると考えられ (図 1), 幼羽と判断できる羽は見当たらなかった. また、初列風切は、色合いの異なる羽が認められないことから世代の異なる羽は混合していないと考えられる (図 2). これらの特徴は本個体が成鳥であることを示唆するが、上述のように成鳥と区別できない第一回夏羽が存在するため、本報告では観察個体の年齢を断定しなかった.

9. 観察した行動: 5月21日 15:10 に、北側の水溜まりでトウネン 11羽、ヨーロップトウネン 1羽の群れに混じり採餌する本個体を発見した. トウネンよりもゆっくりとした動きで歩き回り、時折何かをついばんでいた. 15:15 には、周囲を飛んでいたトビ *Milvus migrans* およびオジロワシ *Haliaeetus albicilla* に驚いて、トウネン、ヨーロップトウネンとともに南側の水溜りに移動した. さらに 15:20 には、上空を通過したマダラチュウヒ *Circus melanoleucos* に驚き、トウネン、ヨーロップトウネンとともに再び北側の水溜りに移動した. その後、15:40 まではこの水溜り内で採餌しているのを確認したが、それ以降は確認できなかった. 一連の観察中に、鳴き声を聞くことは出来なかった.

10. 写真の有無: 有り (図 1, 2).

11. 死体・標本保管場所: ー

12. 過去の記録とその文献: コシジロウズラシギの日本における初記録は 2006 年 8 月の神奈川県多摩川河口でのものである (桐原ら 2009). その後、2011 年 8 月には新潟県日和山海岸で記録された (千葉・高辻 2012).

13. その他: 5月22, 23 日も 14:00–16:00 に観察を行ったが、本個体は確認できなかった.

14. 考察: コシジロウズラシギは、アラスカ北東部、カナダ北部からバフィン島で繁殖し、ブラジル中東部からティエラ・デル・フエゴ諸島にいたる南アメリカ南東部で越冬する (Hayman et al. 1991; del Hoyo et al. 1996; Chandler 2009; Nechaev & Gamova 2012). 本来の生息地ではない東アジアにはごく稀に迷行するに過ぎないが (Brazil 2009;

Nechaev & Gamova 2012), オーストラリアとニュージーランドでは稀に越冬することが古くから知られている (Smith 1976; Smith et al. 1978; Curry et al. 1983; Pringle 1987; Cox & Lees 1990; Hayman et al. 1991). 観察時期から、本個体は越冬地からの北上途中に当地に立ち寄ったものと考えられ、本個体も東アジアに迷行・オセアニアで越冬していた可能性がある. なお、冬季にオーストラリアに滞在していたトウネンが当地付近を通過していることは既に確認されている (山階鳥類研究所 2011).

観察日当日のむかわ町の天候は晴れ、平均風向・風速は南南西・2.5 m/s だった (気象庁 2013). 当地付近は、5月16日に北海道南東沖を北上する低気圧の影響を受け強い北西風 (平均風速 7.2 m/s, 最大瞬間風速 15.4 m/s) が吹きつけたが、それ以降は観察日の 5月21日まで比較的穏やかな天候だった (気象庁 2013). 本個体が当地にいつから滞在していたのかは明らかではなく、渡来に気象的な要因が影響したかどうかは不明である.

本観察記録は、本種の国内三例目の記録であり、国内における春季の初記録、並びに北海道での初記録である.

本稿をまとめるにあたり、編集委員の橋本啓史氏、匿名のレフリー2名からは有益なコメントをいただいた. 梅垣佑介、小田谷嘉弥、西沢文吾の各氏には文献をご提供いただいた. 深く感謝申し上げる.

引用文献

- Brazil M (2009) *Field guide to the Birds of East Asia*. Christopher Helm, London.
- Chandler R (2009) *Shorebirds of North America Europe and Asia; A Photographic guide*. Princeton University Press, New Jersey.
- 千葉 晃・高辻 洋 (2012) 新潟県日和山海岸の埋め立て地で観察されたコシジロウズラシギ. 日鳥学誌 61: 296–298.
- Cox JB & Lees AF (1990) A sighting of the White-rumped Sandpiper in south Australia. *S Aust Ornithol* 31: 18–19.
- Curry PJ, Jaensch RP, Congreve P & Keeling SD (1983) The first records of the Little Stint, White-rumped Sandpiper, Buff-breasted Sandpiper and Little Ringed Plover from south-western Australia. *Stilt* 4: 6–12.
- del Hoyo J, Elliott A & Christie DA (1996) *Handbook of the birds of the World. Vol 3. Hoatzin to Auks*. Lynx Edicions, Barcelona.
- Hayman P, Marchant J & Prater T (1991) *Shorebirds: Identification Guide to the Waders of the world*. Christopher Helm, London.
- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸 (2009) 日本の鳥 550 水

- 辺の鳥 増補改訂版. 文一総合出版, 東京.
- 気象庁 (2013) 気象統計情報 過去の気象データ検索 日毎の値 鶴川 2013 年 5 月. (オンライン) http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/daily_a1.php?prec_no=21&block_no=0131&year=2013&month=5&day=&view=p1, 参照 2013-06-05.
- Nechaev VA & Gamova TV (2012) ロシア極東鳥類目録 2. 藤巻裕蔵 (訳). 極東鳥類研究会, 美唄.
- O'brien M, Crossley R & Karlson K (2006) *The Shorebird Guide*. Houghton Mifflin Company, New York.
- Pringle JD (1987) *The Shorebirds of Australia*. Angus & Robertson, North Ryde & London.
- Smith FTH (1976) An Australian sight record of the White-rumped Sandpiper. *Aust Bird Watcher* 6: 317–320.
- Smith FTH, Swindley RJ & Barkla JG (1978) A second Australian record of the White-rumped Sandpiper. *Aust Bird Watcher* 7: 194–197.
- 高野伸二 (1980) 野鳥識別ハンドブック. 日本野鳥の会, 東京.
- Van Duivendijk N (2011) *Advanced bird ID Handbook. The Western Palearctic*. New Holland Publishers, London.
- 山階鳥類研究所 (2011) フラッグ付きシギ・チドリの観察記録 海外放鳥. 山階鳥類研究所. (オンライン) http://www.yamashina.or.jp/hp/ashiwa/flag/1_kaigai.pdf, 参照 2013-06-05.